

『西国街道を歩こう』



令和6年6月28日 4班担当

「西国街道」とは、江戸時代における街道の一つであり、京都(東寺口)から大山崎、高槻等、淀川右岸を通り、大坂を経ないで西国(下関、大宰府まで)へ至る、江戸時代の重要な幹線道路のことで、京都から西宮までのルートは別名“山崎通”とも呼ばれていた。

今回は商売繁盛の神を祀る十日戎で有名な西宮神社に参拝後、「西宮神社」をあとにししばらく国道43号と並行に歩いたのち北へ。つつじで有名な「廣田神社」を経由してさらに東に。厄除け開運・厄払いで有名な「門戸厄神 東光寺」を参拝後、阪急門戸厄神駅へ。歩行距離約10km

1. 開催日: 令和6年6月28日(金)
2. 集合: 阪神電車 西宮駅 えびす口改札を出た駅前広場で10時
4班の担当者がえびす口改札出口で、広場までの道順を案内いたします。(徒歩2～3分)
3. 行程: 西宮駅集合(10:00)⇒西宮神社(10:20着)参拝※1⇒西宮神社(11:00発)※2⇒廣田神社(12:00着)(昼食※3)⇒・班長会議・集合写真※4⇒廣田神社講話(13:20)⇒廣田神社(13:50発)※5⇒門戸厄神(14:40着)※6⇒門戸厄神解散(15:00)⇒阪急門戸厄神駅流れ解散(15:30)※7

※1. 西宮神社では由緒などの講話を頂きます。。約20分

※2. 171号線に沿って約1時間の歩行です。

※3. 廣田神社の境内で昼食

(コバノミツバツツジ群落地。花は終わっておりますので写真でお楽しみください)

※4 拝殿をバックに集合写真後、神社の由緒などの講話を頂きます。約20分

※5. 道路沿いまたは住宅街を約50分の歩行です。

※6. 門戸厄神は各自で参拝

※7. 4班が門戸厄神駅まで案内いたします。



4. 持ち物: 昼食、飲み物、帽子、履きなれた靴、ストックなど
5. 参加費: 不要(神社の講話を含む拝観のお礼は、そら組会計より支払う)
6. グループ分け 各班ごとにグループ分け(6班より出発)
7. 実施可否 前日の予報で降水確率50%以上は中止。全体メールでお知らせします。
8. 参加者 各班の班長は6月15日までに連絡ください。



西宮神社

商売繁盛の神様として信仰されているえびすさまを祀る、全国に約3,500社あるえびす神社の総本社である。地元では「西宮のえべっさん」と呼ばれる。1月10日午前4時から十日えびす大祭が執り行われ、午前6時に終わると同時に表大門が開かれ、参拝者が本殿までの230mを「走り参り」する。先着の3人が福男と認定される。



廣田神社

日本最古の国史書『日本書紀』にその名を記される「廣田神社」。建国初の海外遠征に勝利をもたらした天照大御神の荒魂(あらみたま)を、凱旋帰国した神功皇后が武庫の地・廣田の国に祀ったのがはじまりといわれている。阪神タイガースの全選手・監督・コーチがキャンプイン前に優勝を祈願する行事は、球団創立時からの伝統。



門戸厄神 東光寺

あらゆる災厄を打ち払うという厄神明王(門戸厄神)が有名で、厄年にあたる年齢の人が厄払いをするほか、数えて13歳の子どもが厄除けと学業成就を願って虚空蔵菩薩(こくぞうぼさつ)に詣でる十三詣(じゅうさんまいり)も行われている。